

滝沢市下水道事業経営戦略及び
汚水処理施設概成アクションプランの改正に関する答申（案）

滝沢市上下水道事業経営審議会

（令和6年1月23日）

答 申

令和5年10月23日付け、滝下水第0510001号で諮問のあった滝沢市下水道事業経営戦略及び汚水処理施設概成アクションプランの改正について、5回にわたり慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり結論を得たので答申する。

なお、更なる下水道事業の効率化に努められ、将来にわたって安定した事業運営を実現するために、審議の過程における意見等を付帯し要望する。

令和6年1月23日

滝沢市長 武田 哲 様

滝沢市上下水道事業経営審議会

会長

目 次

1	投資・財政計画	
(1)	投資について	1
(2)	財源について	1
(3)	投資以外の経費について	1
(4)	経費の削減について	1
2	投資・財政計画に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要	
(1)	今後の投資についての考え方・検討状況	2
(2)	今後の財源についての考え方・検討状況	2
(3)	今後の投資以外の経費についての考え方・検討状況	2
(4)	将来の事業環境	2
3	付帯意見	
(1)	滝沢市下水道事業経営戦略の改正の審議について	3
(2)	汚水処理施設概成アクションプランの改正の審議について	3
(3)	効率的・持続的な事業経営について	3
(4)	下水道使用料について	3
	滝沢市上下水道事業経営審議会委員名簿	4
	滝沢市上下水道事業経営審議会審議経過	5

1 投資・財政計画

(1)投資について

公共下水道の汚水施設は、都市施設として市街化区域内の整備がほぼ終了していると捉え、今後は合併処理浄化槽の普及を図ることで、汚水処理人口普及率を高め、概成を目指すこととしている。将来にわたり市の人口も減少化が予測されている中、下水道整備に対する未整備地区の市民の関心もあることから、地区の特性や環境、費用対効果等に関する整備の可能性を調査・検討し、個別合併処理浄化槽の費用や効果等と比較検討を行い、効率的な生活排水処理施設の整備を今後は進めていく必要がある。併せて、本計画期間内には、アセットマネジメントを基にした改築更新計画を策定し、投資の平準化も進められたい。

また、市における公共下水道の雨水施設は、近年の集中豪雨等による内水被害対策として雨水排水施設の整備を進めているものの、雨水施設の整備率は、令和4年度末時点で約35%と低い状況にある。今後は、雨水出水浸水想定区域を定めるなど、汚水施設の整備から雨水施設の整備に移行しながら、都市に対する災害リスクの軽減を図るよう努められたい。

(2)財源について

経費回収率は現在、100%を下回っているものの改善傾向であることから、さらなる経営努力を行いながら安定的な事業運営を行うものとし、また、下水道使用料収入は、人口推移や有収水量、汚水処理原価や使用料単価を的確に把握し見通しされたい。併せて、今後は供用開始区域の拡大が見込めない中においては、既供用開始区域における接続率向上への取り組みも進められたい。

(3)投資以外の経費について

地方公営企業の経営改善が今後も必要とされている中、資材の高騰などによる修繕費用の増加が見込まれることから、計画的に修繕を進めるとともに、ストックマネジメント等による下水道施設の長寿命化や、耐用年数を迎える管渠等の改築・更新についての老朽化対策の適正な計画が求められ、整備から維持へと、下水道事業経営の在り方が変化していくものと捉え、より適正な管理・運営費となるよう努められたい。

また、現在行われている使用料徴収業務の包括委託を継続するとともに、それ以外の経費に係る部分についても、民間活力の活用を検討されたい。

(4)経費の削減について

不明水対策を早期に進め、管渠などの下水道施設の長寿命化対策であるストックマネジメントに、アセットマネジメントと不明水対策の実施工程を含めることで全体の改築・更新または修繕の計画を策定し、令和8年度までの次期経営戦略の改定に反映するよう図られたい。

2 投資・財政計画に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1) 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化については、緊急性の高い改築工事に対応するとともに、今後の老朽化により優先度が高くなるものをアセットマネジメントとストックマネジメントとの整合を図りながら、改築等施設管理に取り組むことを期待する。

公共下水道使用料の収入につながる整備地区内の接続率については、今後も向上を図りながら、未整備地区については、地区の特性や環境および市民の関心などを十分に考慮し、費用対効果等を調査・検討し整備区域の変更とするよう進められたい。

また、下水道施設の改築・更新については、緊急性の高い管路や重要な幹線の管路などを十分に精査した上で、現在の下水道施設使用者と今後の使用者との間に公平なものとなるよう、改築費用の平準化などを図られたい。

広域化、共同化、民間活力の活用については、現在具体的な予定計画はないものの、引き続き流域下水道の計画を注視しつつ検討されたい。

(2) 今後の財源についての考え方・検討状況

現在、市からの一般会計繰入金は、国が示す操出基準に基づく基準内繰入としており、汚水処理原価については、可能な限り下水道使用料にて回収する必要があることから、今後予想される耐用年数を超える施設の改築・更新および安定した経営に必要な資金の確保の重要性を使用者に理解いただいた上で、公営企業会計として評価できる経営指標などから分析・検証を行い、使用料体系の見直しや検討を含めて、今後も使用料の適正化を図られたい。

(3) 今後の投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力を市の下水道事業に活かすよう、下水道使用料の徴収業務以外についても検討や実施をしていくことは、経営改善を行う上で必要であり、広域化による業務連携などの経営改善の取組を今後も図られたい。

また、職員の下水道への専門的な知識の習得や資質向上を継続しながら事業経営を行うことで、コスト削減や効率的な施設管理などが図られていくと考えられることから、今後も計画的に進められたい。

(4) 将来の事業環境

人口減少の問題については、市の下水道事業経営においても影響があるものと考えられることから、公共下水道の水洗化人口と有収水量との関係など、定期的にアクションプランの計画値を比較・検証し、将来の見通しを把握しながら、事業環境を調えるよう図られたい。

3 付帯意見

(1) 滝沢市下水道事業経営戦略の改正の審議について

下水道事業の経営について、概ね収支均衡が図られる計画となっているが、経営改善として、不明水処理費に係る事業について、早期に対応されたい。

また、経費回収率は100%を下回っていることから、定期的に各経営指標の検証を行いながら、経営の健全化を図られたい。

(2) 汚水処理施設概成アクションプランの改正の審議について

国が示す下水道施設の概成年度である令和8年度以降について、市では、市街化区域内の下水道施設の整備が概ね完了したことにより整備を行わない方針としているが、人口減少や整備に対する費用対効果などを今後も検討し、未供用地域に対する水洗化率の向上を進められたい。

また、今後の下水道整備については、コンパクトシティ化など、都市形成を下水道が牽引することも必要と考えられることから、市の政策に積極的な対応を期待する。

(3) 効率的・持続的な事業経営について

施設の老朽化などによる管渠の改築・更新については、策定したアセットマネジメントや不明水対策の実施をストックマネジメントとともに計画し、継続した下水処理を行うこととしながら、さらなる下水道への接続率の向上を図り、下水道使用料収入と適正な維持管理経費等を常に検証しながら、効率的・持続的な下水道事業経営を行うよう努められたい。

(4) 下水道使用料について

経営比較分析による各経営指標などから、概ね順調な経営状態であると考えられ、また、流動資産の現金預金は令和4年度において、単年度の下水道使用料程度を確保できており、今後は微増していく投資・財政計画となっている。

しかし、汚水処理原価が類似団体の平均より高い状況などから、企業会計における経営分析を今後も行うことで、適正な下水道事業経営となるよう努めるものとし、計画した投資・財政計画について、適正な下水道使用料であるか、毎年度、検証をしながら、必要に応じて下水道使用料改定の検討をするよう図られたい。

滝沢市上下水道事業経営審議会委員名簿

区 分	所属・職名	氏 名
経営、水道、下水道又は 環境に関する学識経験 者	東北工業大学工学部 環境応用化学科教授	山 田 一 裕
	盛岡森林管理署 署長	山 口 孝
	(株)やまびこ 盛岡事業所 生産本部 管理課長	田 村 康 樹
	元滝沢市市民環境部長	齋 藤 誠 司
商工団体の推薦する者	滝沢市商工会 理事	田 村 武
消費者団体の推薦する 者	いわて生活協同組合 理事	関 晴 恵
住民公募		熊 谷 稔
		新 田 育 夫
		赤 塚 貴 史

滝沢市上下水道事業経営審議会審議経過

「滝沢市下水道事業経営戦略及び汚水処理施設概成アクションプランの改正について」

令和5年7月3日 第1回審議会

- ・滝沢市下水道事業経営戦略と汚水処理施設概成アクションプランの振り返りと見直し
- ・経営比較分析表（令和3年度決算）
- ・収益的収支および資本的収支令和3年度決算比較
- ・アセットマネジメント運用計画図
- ・北上川上流流域下水道（都南処理区）の市町の公営企業に係る経営比較分析表（令和3年度決算）

令和5年9月5日 第2回審議会

- ・滝沢市下水道事業経営戦略見直し（案）
- ・汚水処理施設概成アクションプラン見直し（案）

令和5年10月23日 第3回審議会

市長から会長に対し諮問

- ・滝沢市下水道事業経営戦略の改正
- ・汚水処理施設概成アクションプランの改正
- ・下水道使用料

令和5年12月6日 第4回審議会

- ・滝沢市下水道事業経営戦略の改正

令和6年1月23日 第5回審議会

- ・答申について

令和6年1月23日 会長から市長に対し答申